

平成24年度 指定管理者施設管理評価シート

部 文化産業観光部 課 産業振興課

施設名称	〔9〕 東京都台東区立産業研修センター					
指定管理者の名称	公益財団法人台東区産業振興事業団			指定期間	H23.4.1 ~ H28.3.31	
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区産業の経営基盤を整備し、区内中小企業の育成を図るとともに、中小企業勤労者の福祉の向上を目的に、勤労者サービスセンター及び産業研修センターの運営を行う。					
(2)類似施設の管理実績	なし					
(3)経営状況	基本財産の額 5億円 〔収入〕170,863,326円 〔支出〕126,681,832円 〔区返還〕0円 〔当期末残高〕44,181,494円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区橋場1-36-2					
(2)設置目的	台東区の中小企業の振興及び勤労者等の福祉向上並びにものづくりに携わる事業者の育成を図り、もって区内産業の活性化に寄与する					
(3)利用者	区内在勤、在住の者で構成する団体等 浅草ものづくり工房入居者ほか					
(4)開館日・時間	・休館日 毎週月曜日 国民の祝日に関する法律に定める休日（月曜日の場合はその翌日） 1月2日、3日 12月29日から31日まで・開館時間9時から22時（浅草ものづくり工房については、24時間365日開館）					
(5)規模	旧館：昭和56年10月1日開設・延床面積 932.78㎡ RC造3階建 事業者支援施設（貸事務所9室）機械研修室 新館：昭和58年11月1日開設・延床面積 1,179.04㎡ RC造4階建（4階橋場老人福祉館併設）会議室 研修室 皮革産業資料館兼図書コーナー					
(6)人員体制	産業研修センター所長 1名、事務職員 4名					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1)委託事業	【サービス提供】登録団体への各研修室、会議室等の貸出 【事業者支援】浅草ものづくり工房入居者への支援					
(2)自主事業	革工芸教室・CAD講座・語学教室・パソコン教室・太極拳教室等実施					
4. 予算決算の推移						
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
予算	委託料	44,384,000	43,900,000	35,963,000	48,075,000	30,272,000
	料金収入等	3,315,000	3,172,000	3,784,000	10,782,000	8,395,000
	管理経費	47,699,000	47,072,000	39,747,000	58,857,000	38,667,000
決算	委託料	40,414,482	40,890,999	33,488,723	44,112,301	27,761,223
	料金収入等	3,394,175	2,368,475	2,888,850	7,647,427	8,131,046
	管理経費	43,808,657	43,259,474	36,377,573	51,759,728	35,892,269
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称		単位	20年度	21年度	22年度	23年度
利用人数		人	21,207	12,721	12,277	11,420
ものづくり工房		室	-	9	9	9
開館日数		日	291	283	293	294
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値 （25年度）	21年度	22年度	23年度
研修センター稼働率		%	27.0	35.0	24.7	22.0
ものづくり工房稼働率		%	100.0	100.0	100.0	100.0

7. 平成23年度評価結果に対する現在までの取組み				
<p>入居者の区内創業に向けた支援として、経営納税相談の実施や、大型百貨店催事やインターナショナル・ファッション・フェア展に出展し販路拡大に向けた取組を実施した。会議室の稼働率向上、講座等への参加者増を図るため、パンフレットを区内各施設に配布し広く周知し、「手作り教室」等の通年実施、「CAD入門講座」の定員増を図りサービス向上に努めた。</p>				
8. 評価項目				
<p>3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。  2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。  1：おおむね協定等の水準だが課題がある。</p>				
評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 (b)サービス水準 (c)職員配置 (d)職員研修 (e)案内・接遇	[2] [2] [2] [2] [2]	(f)開館時間等の遵守 (g)自主事業の成果 (h)個人情報保護 (i)緊急時対応 (j)警備・防犯体制	[2] [2] [2] [2] [2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 (b)備品の管理 (c)清掃・衛生管理 (d)施設の修繕	[2] [2] [2] [2]	(e)危険箇所等の確認 (f)管理記録の作成・保存 (g)業務委託の事前承認 (h)省エネ・省資源・環境配慮	[2] [2] [2] [2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 (b)苦情・要望への対応と報告 (c)利用者数の目標達成	[2] [2] [2]	(d)利用しやすい環境整備 (e)関係団体・地域との関わり	[2] [2]
(4)歳入歳出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 (b)経費縮減のための取組み	[2] [2]	(c)収支計画の達成 (d)利用料等の徴収・管理	[2] [2]
9. 評価				
<p>S（水準以上）： 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。  A（適正）： 協定等の水準を満たす管理が行われている。  B（一部課題あり）： 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。  C（課題あり）： 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。  D（水準未滿）： 協定等の水準を満たしていない。</p>				
評価の観点	評価	説明		
(1)事業の運営	A	産業研修センター運営委員会や利用者のご意見を伺いながら各種講座の見直しを行い新規自主事業に取り組み、参加者の増加を図るなど事業運営に努めた。また「浅草ものづくり工房」についても入居期限満了時に自立できるよう支援に努めてきた。		
(2)施設の維持管理	A	施設管理は、管理基準を基に点検等を実施しており、業務日誌や施設利用者業務日誌や施設利用者報告書等によって、区に適切に報告されている。清掃業務、夜間施設管理は、シルバー人材センターに委託し、効率のかつ適切に実施している。		
(3)利用者の満足度	A	随時、利用者アンケート調査や聞き取りにより、施設利用や各講座に関する意見・要望等の把握に努め、講座開催や施設運営に活かしている。アンケートでは、講座内容について「満足している。」といった意見もいただいている。		
(4)歳入歳出	A	地震による節電対策により集会室等の利用件数は前年度より若干減少したが、企業による利用が増加し利用料収入が増えた。また、各講座、教室についても開催回数増や新規事業を行い、前年度を上回る数を確保するなど、収入確保に努力している。		
10. 総合評価				
<p>良好 妥当 要努力 要改善 不適</p>				
妥当		協定等の基準に基づき事務処理を含め適正に管理されている。また平成21年12月に開設された「浅草ものづくり工房」を活用して地場産業団体との連携、地域産業の活性化ともものづくり分野に携わる若手の職人・クリエイターの育成に努力している。		
11. 平成24年度評価結果に対する今後の対応				
<p>平成24年度募集のものづくり工房第2期入居者に対し、自立支援を行うとともに、地域との連携・交流を図っていく。また、会議室の稼働率を高めるため、更に広報等に努力し、講座等については、通年実施となった事業の継続と、ニーズに合わせた内容を実施し、サービス向上に努めていく。</p>				